

# わだち



▲大俵引き(会津坂下町)

## 新年のご挨拶

### 県ト協

- 平成28年度各種助成事業執行状況
- 運行管理者試験受験対策勉強会
- 第2回交付金運営委員会開催
- 支部における適性診断(初任・適齢)の受診についての注意
- 年末年始の輸送等に関する安全運動実施について

### 適正化

- 各地で事故防止講習会を実施

### 協同組合

- ふくトラネットワーク協同組合KIT情報

### 陸災防

- 技能講習等実施予定

### 支部

- 県南支部が交通事故防止講習会を開催

### 事業所

- 磐城通運(株)火力営業所が「エコドライブ活動コンクール」で優秀賞を受賞

当協会広報誌『わだち』では会員事業所の皆様に役立つ情報の提供に努める所存ですので、本年もご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

## 1月の行事予定

日程	行事内容	開催場所
11日(水)	平成28年度原価意識強化セミナー	郡山市「県中研修センター」
20日(金)	第5回理事会	いわき市「小名浜オーシャンホテル」

## CONTENTS

新年のご挨拶	公益社団法人福島県トラック協会……………	3
	公益社団法人福島県トラック協会 会長 渡邊泰夫……………	4
	東北運輸局福島運輸支局 支局長 谷藤耕治……………	6
	福島県知事 内堀雅雄……………	7
	福島県警察本部 交通部長 佐藤正人……………	8
福 興 協 県 ト 協	福島復興支援輸送協同組合からのお知らせ……………	9
	1月の行事予定……………	2
	会員だより……………	9
	平成28年度各種助成事業執行状況……………	10
	運行管理者試験受験対策勉強会のご案内……………	12
	年末年始の輸送等に関する安全運動実施について……………	13
	支部における適性診断（初任・適齢）の受診についての注意……………	13
適 正 化 支 部	平成28年度第2回交付金運営委員会について……………	13
	各地で事故防止講習会を実施……………	11
高 速 安 協 事 業 所	県南支部が交通事故防止講習会を開催……………	11
	福島・郡山・会津・いわき分会が福島県警高速交通隊より感謝状……………	14
協 同 組 合	磐城通運(株)火力営業所が「エコドライブ活動コンクール」で優秀賞を受賞……………	14
	ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報……………	16
陸 災 防 お 知 ら せ	技能講習等実施予定……………	16
	東北交通共済……………	15
	交通事故統計……………	16

# 謹賀新年

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平成29年 元旦

公益社団法人福島県トラック協会  
会長 渡邊 泰夫 (會津通運株)

## 副会長

右近 八郎 (マクサム通運株)      西條 久義 (日本通運株郡山支店)  
加治 雄司 (磐城通運株)

## 常任理事

小針 幸神 (有)小針運送      佐藤 信成 (丸カ運送株)

## 理事

引地 英俊 (JAパールライン福島株)	尾越 建一 (株)帝北ロジスティックス
蓬田 隆信 (福島倉庫株)	鈴木 勝文 (福島陸運株)
伊藤 幹夫 (福島運送株)	大河原 嘉一 (株)昭和運送店
永山 忍 (郡山運送株)	金野 直輝 (第一貨物株)郡山支店
大内 芳一 (株)大内運送	本田 富夫 (株)タムラ
蛭田 政男 (有)だいわ運送	橋本 一美 (有)ハシコー梱包運輸
菊池 良造 (株)海老屋運送	菅野 高志 (有)菅野運送店
金子 勝宏 (株)北越フォレスト)	小瀧 徳子 (有)小瀧運送店
遠藤 秀弥 (中村貨物運送株)	西山 由美子 (株)丸東
伊藤 浩一 (いわきカーゴ株)	金井 一夫 (新富運輸株)
鈴木 健仁 (鈴木運輸株)	松尾 活秀 (三つ山運送株)

## 専務理事

荒川 孝一

## 監事

宮崎 泰明 (スナンエクスプレス株)      大内 孝浩 (ダイトーロジスティックス株)  
林 富士雄 (八島運送有)      中野 光 (遠野運送株)



## 新年のご挨拶

公益社団法人福島県トラック協会  
会長 渡邊 泰夫



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私どもトラック運送事業者は、国民生活と産業活動を支える公共的物流サービスの担い手として、その重要な使命を果たすべく日夜懸命に努力しております。トラック運送事業者は、社会との共生を図るため、積極的に環境性能の高いトラックの導入やエコドライブの推進など自助努力を行っております。また、東日本大震災や昨年発生した熊本地震、岩手県岩泉町の台風10号豪雨災害及び鳥取県中部地震における緊急支援物資輸送においては、トラック運送業界の総力を挙げて全力で取り組んでまいりました。

特に、福島県の場合、東日本大震災並びに東京電力福島第一原発事故からまもなく6年を迎えようとしています。いまだに帰還困難区域では避難して仮設住宅にお住まいの方は、9万人弱程度もあり、一日も早い復旧復興を強く願っている被災者も多数おられます。しかし、現状は中間貯蔵施設建設に向けた地権者交渉などが難航し、福島県内各市町村に保管されている除染廃棄物の輸送は、先行き不透明な状況にあります。福島県の風評被害の払拭と復旧・復興に欠かせない除染廃棄物輸送事業に、福島県トラック協会の総力を挙げて積極的に参画することを最重点施策として掲げ、「福島復興支援輸送協同組合」を設立させました。福島県の一日も早い復旧・復興を支援し貢献したいと進めております。

福島県内の物流動向は、復興需要が一段落し、総合判断で県内景気は、一部に弱い動きがみられるものの着実に持ち直しています。特に、建設需要で新設住宅着工戸数は対前年29.4%増、公共工事請負金額で対前年57.6%増となり上回っています。また、運送事業経営に直結する燃料価格については、軽油ローリー価格で平成28年1月の73.38円から9月の72.14円までと低価格で推移し経営には恵まれましたが、ここにきて原油価格が上昇、経営への影響が懸念されています。依然としてドライバー不足は深刻化している中、本年3月12日から施行される「道路交通法の一部を改正する法律」において準中型免許（車両総重量7.5t未満が運転可能）が18歳での取得が可能となり、高校新卒者をはじめとして若年ドライバーの積極採用に大きな期待がかかるところです。そのためには、トラック運送業界のイメージアップが課題となっています。

そうした中、福島県トラック協会は、昨年10月と11月に自民党をはじめとする福島県選出国会議員12名全員に対して、「高速道路料金の更なる引下げと大口多頻度割引最大50%の恒久化」など平成29年度税制改正・予算関連の要望書と福島県独自の「中間貯蔵施設への除染廃棄物等の輸送に向けた要望書」を提出し説明してきました。私どもの要望について前向きに示されるものと期待しております。

また、一昨年4月3日に閣議決定された「労働基準法の一部を改正する法律案」においては、月60時間を超える時間外労働に係る割増賃金率（50%以上）について、平成31年4月から、中小企業

への猶予措置を廃止することとしており、長時間労働の抑制に向けた環境整備が進められています。トラック運送業においても、総労働時間が長く、また、荷主都合による手待ち時間の実態があり、トラック運送事業者のみの努力では長時間労働を改善することが困難な状況にあることから、福島県内においても福島労働局、福島運輸支局、福島県トラック協会が中心となって「トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県地方協議会」が設置されました。昨年は、発荷主を全国農業協同組合連合会福島県本部として農産品にてパイロット事業を実施し、現在、実証結果について整理しているところであります。運送の基本は、車上受け・車上渡しと捉え、取引環境についても精査していきたいと思っております。

福島県トラック協会はこれまで懸案事項であった遊休財産の処分について、昨年は旧県南方部共同休憩所の売却と旧会津方部第二共同休憩所の売却が完了し、一定の整理ができました。また、旧福島トラックステーションの売却が完了し、今後については、トラックドライバーの休憩場所の確保が課題となってきています。一昨年オープンした「白河の関トラックステーション」の活用や、高速道路のSA・PAや道の駅における大型車等の駐車スペースの確保及び整備拡充について取り組んでまいります。

結びに、このような厳しい環境にあるときこそ、安全確保が最優先されなければなりません。今年も飲酒運転根絶をはじめとして重大交通事故や労災死亡事故の防止に向けて、会員一丸となって取り組みを強化して参る所存であります。また、本年の平成29年もトラック協会会員の事業発展とトラック運送業界にとって明るい話題の多い年となりますよう期待するとともに会員皆様方のご多幸とご隆盛を心から祈念して、年頭の挨拶といたします。

## 渡邊泰夫会長が 平成28年秋の叙勲(旭日小綬章)を受章

11月10日に東京都「グランドプリンスホテル新高輪」にて執り行われた叙勲伝達式において、渡邊泰夫会長が旭日小綬章を受章されました。



【叙勲伝達式】  
(11月10日、グランドプリンスホテル新高輪)



渡邊会長ご夫妻



## 「29年・新年のご挨拶」

東北運輸局福島運輸支局  
支局長 谷藤 耕治



新年、明けましておめでとうございます。

平成29年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会 渡邊会長をはじめ会員の皆様方には、日頃から国土交通行政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

皆様方には、物流を通じて社会に貢献されるとともに、交通事故の防止や環境対策にご尽力をいただいていることに敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。

さて、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から5年10月が過ぎようとしておりますが、被災地においては現在もなお、復興に向けて懸命の努力が続けられております。

そのような中、一昨年、除染廃棄物輸送への協力のための「福島復興支援輸送協同組合」を設立されましたが、まさに「福島の復興」へ向けた貴協会の強い決意を改めて感じた次第です。

福島運輸支局としましては、除染廃棄物の中間貯蔵施設への輸送が安全に行われること、そして、一日も早い「福島の復興」を願っているところです。

最近の県内の景気動向につきましては、各種政策の効果や復興需要を背景に回復していくことが期待されている状況にあります。

しかしながら、トラック輸送業界においては、運転者の長時間労働問題や運転者等の人材不足が顕在化するなど依然として厳しい経営環境が続いております。

とりわけ、運送事業のドライバー不足が深刻であり、若年運転者の減少、それにともなう運転者の高齢化により、運行管理面や健康管理面において大きな問題となっています。

国土交通省としましては、この運転者不足解消に向け、支局長による高等学校訪問により、自動車運送事業の社会的重要性や貢献度の高さ等について説明を行い、女性や若年層の雇用を促進し、人材の確保・育成に向けた取り組みを推進しているところです。

また、取引環境改善とトラックドライバーの長時間労働の抑制を目的とします「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」を中央、そして地方でも設置し、協議を進めております。

福島県におきましては、昨年5月に第4回協議会を開催、11月に第5回協議会を開催しております。パイロット事業については、対象集団の皆様の積極的なご協力をいただき、全国のトップランナーとして平成28年度事業を実施することができました。

今後とも、関係機関の皆様方と連携を図り平成29年度パイロット事業の実施などを通じて、取引環境改善、労働時間改善に向けた取り組みを推進して参りますので、皆様方の一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

自動車運送事業にとりましては「輸送の安全・安心の確保」が最大の使命であり、そのため、企業の経営トップから現場乗務員に至るまで、輸送の安全の重要性を認識し、絶えず安全性の向上に企業全体で取り組むことが義務付けられているところです。

運輸支局といたしましては、平成21年に策定した「事業用自動車総合安全プラン2009」に基づき、「事故件数、死者数の半減」、「飲酒運転の根絶」等の目標達成に向け、事業用自動車の安全対策並びに事故防止の各種施策を関係機関・関係団体と連携して、積極的に取り組んで参ります。

また、「運輸安全マネジメント」につきましても、安全意識の浸透定着を基本に据えて、安全対策の実践を引き続き推進して参ります。

福島運輸支局としましては、地域と利用者ニーズに応えた施策はもとより、「安全」と「安心」を根幹に据えて、貴協会と連携しながら各種課題に取り組んで参りますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福島県トラック協会並びに会員事業者皆様方の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



## 「福島の新しい未来を切り拓く」

福島県

知事 内堀 雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

震災から間もなく6年を迎えようとしております。今もなお8万人を超える県民の皆さんが避難生活を続けているほか、被災者の生活再建や廃炉・汚染水対策、風評・風化といった二つの逆風など、様々な課題が山積しており、福島の復興はいまだ途上にあります。

一方で、環境・医療分野を始めとした新たな拠点施設の整備進展、相馬福島道路や東北中央自動車道といった交通インフラの整備進展、さらには大型観光キャンペーン等の展開による県内観光地のにぎわい回復や文化・スポーツ面での若者の活躍など、明るい光が強まりを見せてまいりました。

この光を更に大きな輝きとし、県民の皆さんがより一層復興を実感できるよう、復興計画に基づく重点プロジェクトを着実に実行に移し、スピード感を持って取り組んでまいります。

特に、避難地域の復興再生は最優先課題と考えております。インフラの復旧・整備はもちろん、ふたば医療センターの整備を始めとする医療提供体制の確保や公共交通ネットワークの構築、学校再開の支援など、広域的な課題にもしっかりと取り組むとともに、国、市町村と一体となって12市町村の将来像の実現やイノベーション・コースト構想の具体化を図り、一人でも多くの方がふるさとに安心して住み、暮らし、働ける環境づくりを進めてまいります。

また、本県の復興を更に前へ進めていくためには、経済や産業の活性化が極めて重要であります。農林水産業、商工業、観光業など既存産業の再生はもとより、再生可能エネルギーや医療関連産業を始め、ロボット、航空宇宙関連産業といった新たな時代をリードする成長産業の育成・集積を図ってまいります。

そして、復興と併せて取り組まなければならない課題が地方創生であります。震災以降、本県の人口は12万人以上も減少しましたが、もともと福島県は「構造的な人口減少」という重い課題を抱えております。こうした人口減少に歯止めを掛けるため、「ふくしま創生総合戦略」に基づき、未来を担う若い世代に対する施策を中心に、雇用の創出や定住・二地域居住の推進など新しい人の流れづくり、切れ目のない結婚・出産・子育て支援、地域における新たな魅力の創出といった様々な施策を総合的に進め、福島ならではの地方創生、人口減少対策に重点的に取り組んでまいります。

このほか、避難者支援、風評・風化対策、県土の環境回復、県民の健康増進、産業の振興、社会生活基盤の整備推進など、様々な課題に一つ一つ挑戦を続け、福島県全体の復興・創生に力を尽くしてまいりたいと考えております。

震災・原子力災害からの復興と地方創生を2つの大きな柱として、福島に心を寄せてくださる国内外の全ての方々と手を携え、新しい未来を拓き、世界に誇れる福島の実現を目指して、全力で取り組んでまいりますので、今後とも一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、新年の御挨拶といたします。



## 年頭の御挨拶

福島県警察本部  
交通部長 佐藤 正人



新年、あけましておめでとうございます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様方には、日頃より警察行政各般にわたり、深い御理解と多大な御支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年中は、各事業所におけるセーフティチャレンジ事業参加による事故防止コンクール事業所表彰を通じた効果的な事故防止活動はもとより、事故防止を重点とした管理者等に対する講習会の開催、トラックドライバー・コンテストを通じた実践的な安全運転教育、さらには各季の交通安全運動への積極的参加など、協会一丸となって様々な活動を推進され県内の交通事故防止に多大な御尽力をいただき深く感謝を申し上げます。

さて、昨年の交通事故発生状況は、関係機関・団体の皆様方の懸命な取り組みにより発生件数、傷者数につきましては前年に比べ大きく減少しましたが、死者数については増加するという大変残念な結果となりました。

昨年の交通死亡事故等の特徴としては、

- 事故死者の約半数を65歳以上の高齢者が占めていること
- 四輪車乗車中の死者のシートベルト着用率が約半数と低調であること
- 交差点やその付近における事故が前年に比べ大きく増加していること

などであります。

これらの要因を仔細に分析しますと、高齢化社会の進展、交通安全意識のバロメーターと言われるシートベルト着用率の低下、前方不注意などの安全運転義務違反による交差点事故などが挙げられます。

また、本年3月12日には、準中型免許の新設、認知機能検査の強化など、運転者対策の推進を図るための改正道路交通法が施行されますことから、今後とも県民の交通安全意識の向上と更なる啓発活動等が重要であると考えております。

このため、県警察では本年の重点として、「総合的な対策による交通事故の抑止」を重点に掲げ、県民の尊い命を交通事故の脅威から守るため、地域と一体となった交通安全活動を継続的に推進するとともに、悪質・危険運転者に対する取締り、安全で安心できる交通環境の整備、効果的な運転者施策の推進などの総合的な対策により交通事故を抑止し、秩序ある安全で快適な交通社会の実現を図ることとしております。

悲惨な交通事故を1件でも減少させるためには、県民一人一人が交通ルールを遵守し、相互理解と思いやりの心を持って行動することが重要であり、そのためには関係機関・団体が緊密に連携し、それぞれが実情に応じたきめ細かな取り組みを継続していくことが大切であります。

皆様方におかれましては、本年も引き続き、事業所における安全運行管理をより一層強化されますとともに、交通安全意識の普及、啓蒙活動の推進により一層の御尽力を賜りますようお願いを申し上げます。

年頭に当たり、公益社団法人福島県トラック協会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御多幸をお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 福興協 福島復興支援輸送協同組合からのお知らせ

## 「平成28年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事(大熊町)」の除染廃棄物輸送について

㈱安藤・間殿が落札した「平成28年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事(大熊町)」の除染廃棄物輸送については、当初「連携確認書」を取り交わしたことから当協同組合に発注されるものと見込んでおりましたが、「双葉地区の地元事業者を優先して活用するよう」との行政等の指導により受注することができませんでした。福島県の復興のため積極的に取り組んでいこうと当協同組合に加入された組合員の期待に添えない状況にあることについて大変残念に思っているところです。

### 除染廃棄物輸送を取り巻く情勢について

現在環境省は中間貯蔵施設建設予定地内の保管場建設工事に合わせ、除染廃棄物輸送をセットで大手ゼネコンに輸送工事として発注しておりますが、その結果として、明らかに営業行為であるにも関わらず他県ナンバーを含めた「白ナンバートラック」が横行したり、多重下請けによる運賃料金の低落傾向、更には良質な運転手の確保ができないなど様々な問題が顕在化していると認識しております。

## 第6回理事会で決定された当面の方針について

こうした現状認識に立った中で12月8日に第6回理事会が開催され、当協同組合の今後の方針について議論がされました。「福島県全体が地元であり、積込地周辺に所在する事業者が地元事業者だ」、「今後輸送量が増加し車両不足になる。慌てて仕事を取る必要はない」、「契約相手は国やゼネコンという基本を堅持して適正運賃水準を求めべきだ」など様々な意見が出され、総じてそれらの意見に賛同する意見が多く出されました。その結果、福島復興支援輸送協同組合としての当面の方針が下記の通り承認されました。

1. 地元事業者とは、積込地周辺に所在する事業者であることを環境省をはじめ関係各署に強くアピールする。
2. 当協同組合の契約相手先は国等又はゼネコンであり、今顕在化している運賃競争には距離を置く。
3. 方部別会議を開催し、組合員各位に現状と今後の方針を説明して理解を得る。

### 方部別会議の開催について

理事会の方針を受け、方部別会議を下記の通り実施しました。

1. 12月12日(月) 10:30~	県中ブロック	参加者 6名	4. 12月15日(木) 14:30~	県南ブロック	参加者 10名
2. 12月12日(月) 15:00~	会津ブロック	参加者 8名	5. 12月16日(金) 13:30~	相双ブロック	参加者 5名
3. 12月14日(水) 14:00~	県北ブロック	参加者 12名	6. 12月21日(水) 13:00~	いわきブロック	参加者 9名

## 会員だより

### 新規入会事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住所	車両台数
県中	大衡運送(株)郡山営業所	板花康二	963-0551	郡山市喜久田町字上追池48-1	8
県中	東北センコー運輸(株)福島営業所	小松良成	969-1173	本宮市本宮字中野14-2	5
相双	(株)水希	水谷優希	979-2322	南相馬市鹿島区大内字関根200番地	10
相双	(株)クルマのわかつき	若槻英夫	975-0051	南相馬市原町区牛来字出口147番地の6	5

### 新賛助会員事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住所	車両台数
県中	ヤマト運輸(株)二本松支店	菅野嘉美	969-1301	安達郡大玉村大山字向原79-1	29

### 退会会員事業所

支部	店・社名	支部	店・社名
県北	平田紙興(株)福島営業所	いわき	(有)丸智運送
県南	いわせ藤運輸(有)		

### 賛助会員退会事業所

支部	店・社名
県北	ヤマト運輸(株)二本松杉田支店
県中	ヤマト運輸(株)本宮センター

### 会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
3	太平洋陸送(株)伊達営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	佐藤 宏	佐藤正信
22	近物レックス(株)郡山支店	事業所名	近物レックス(株)本宮支店	近物レックス(株)郡山支店
		代表者 (支店・営業所代表者)	阿部義一	村上 俊
		郵便番号 住所	969-1105 本宮市関下字下関下66番地1号	963-8834 郡山市図景1丁目11番13号
P26→P20 県南→県中	(有)高橋急送	郵便番号 住所	963-0551 郡山市喜久田町字菖蒲池21-13	962-0001 須賀川市森宿字安積田18-9
46	角榮運搬(有)	代表者 (支店・営業所代表者)	上妻嘉祥	上妻藤市
48	乙羽運送(株)	事業所名	クレハ運輸トラック(株)いわきセンター	乙羽運送(株)
		代表者 (支店・営業所代表者)	馬上 務	新田和彦

# 県ト協 平成28年度各種助成事業執行状況

平成28年度の各種助成事業の平成28年12月22日現在の執行状況は下表のとおりとなっています。  
 助成事業によっては、助成金申請書の提出期限前であっても、予算額に達した場合は申請しても助成されませんので十分注意してください。

また、「執行状況」については、本表作成時点後の申請状況により変わりますので、助成事業の利用を予定している方は、早めの申請をされるようにしてください。

平成28年12月22日現在

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額等	執行状況(%)
交通安全対策事業費	1 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,300円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	64
	2 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1会員50人まで	37
	3 睡眠時無呼吸症候群精密検査(PSG)ポリグラフ検査	SAS検査の結果、精密検査の対象となった者に対する検査費用の助成	20,000円/人(上限)	一人年1回	27
	4 ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 10,000円/人(上限) 全ト協主催の特別研修 Gマーク取得事業所 全額7割 その他	1会員 5名まで	21
	5 EMS <b>間もなく終了します。</b>	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1会員20台上限	92
	6 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携 45,000円 (25,000円) 標準型 30,000円 (20,000円) 簡易型 15,000円 (15,000円) スマートフォン(アプリ) 3,000円 (3,000円) ※( )書きの金額は、国の補助金を受けた場合	1会員20台上限	<b>終了</b>
	7 安全装置	後方視野確認支援装置、呼気吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	27,000円/台	1会員20台上限	76
	8 フォークリフト技能講習受講料	陸災防の行うフォークリフト運転技能講習の受講経費	4,000円/人		40
	9 ETC2.0	ETC2.0機器購入に要した経費に対する助成(コーポレートカードを利用している事業者)	7,000円/台	1会員県内保有台数の30%で、30台上限	48
	10 中型・大型免許助成	従業員に中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	中型免許(二種は除く) 50,000円/人上限 大型免許(二種は除く) 100,000円/人上限 けん引免許 50,000円/人上限 中型限定解除 30,000円/人上限	1会員50万円上限	85
	11 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,000円/人・年(上限)	車両台数上限	59
交通公害対策費	12 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚 エア・温水式ヒーター 120,000円/基 蓄冷式クーラー(リヤ・三菱) 90,000円/基 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー・デンソー、UD) 50,000円/基 車載バッテリー式冷房装置 120,000円/基 ジェルマット 9,000円/枚	電気式の毛布・マット・ベッド 30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー・車載バッテリー式冷房装置 3基 ジェルマット 30枚	<b>終了</b>
	13 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型 新車 15,000円 中型 新車 30,000円 大型 新車 50,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	18台	61
	14 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	3,000円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	180本	77
研修・調査事業費	15 中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		84
	16 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得・更新のどちらか1回)	33
	17 経営診断	経営診断に要した経費の一部に対する助成	経営診断費用の1/2 80,000円限度 (Gマーク取得者は 100,000円限度)		0
基金運営事業費	18 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.4% ポスト新長期車 〃 0.6% 低公害車・省エネ関連機器 〃 0.6%	近代化基金 1会員 5千万 ポスト新長期 1会員 1億 低公害車等 1会員 5千万	76
	19 信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	信用保証料の額が 50,000円まで 全額 50,000円～ 50,000円に50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 100,000円	24
	20 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が 100,000円まで 全額 100,000円～ 100,000円に100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 200,000円	49
	21 緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		89
事業正費化	22 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,000円/人・年 基礎講習 4,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)	84

注1)「制度の概要」は、助成制度の概略を記載したもので、詳細は助成要領等で確認してください。  
 注2)本表は、会員を対象としたもので、Gマーク取得の非会員に対する助成措置は省略してあります。  
 注3)「執行状況」は、予算額に対する執行率を「%」で表示します。概ね90%を超えたときは「締切間近」と、また、予算額に達した場合は「終了」と表示します。

# 適正化 各地で事故防止講習会を実施

平成28年度事故防止講習会は下記の日程で開催され、876事業所907名が出席した。

本年度も福島県内の貨物自動車運送事業者の安全意識の高揚を図り、貨物輸送の安全確保するために事故防止講習会を今年度も下記により実施した。

	日 程	会 場	出席者数(事業者数)
県南会場	11月16日(水)	白河の関トラックステーション	144名 (139事業者)
会津会場	11月18日(金)	会津方部共同休憩所	84名 ( 86事業者)
いわき会場	11月21日(月)	パレスいわや	165名 (159事業者)
相双会場	11月22日(火)	相馬方部共同休憩所	56名 ( 51事業者)
県中会場	11月28日(月)	郡山ユラックス熱海	310名 (297事業者)
県北会場	11月30日(水)	県トラック協会研修センター	148名 (144事業者)

## 講習内容

- ①労働災害防止について
- ②道路交通事故と安全対策、免許制度改正
- ③関係法令と交通事故対策

福島労働局労働基準部担当官  
 福島県警察本部交通部担当官  
 東北運輸局福島運輸支局専門官



【県北会場】



【県中会場】



【県南会場】



【会津会場】



【相双会場】



【いわき会場】

# 支部 県南支部が交通事故防止講習会を開催

県南支部（小針幸神支部長）は交通事故防止講習会を12月10日(土)に泉崎村「白河の関トラックステーション」において開催し、支部会員事業所から160名が参加した。

講習会は午前・午後二部構成の内容となっており、午前の部はドライバーを対象とした「飲酒運転防止に向けたアルコールの基礎知識習得」についての講演を県ト協適正化事業部 須釜課長が、次に「事故災害防止への施策について」の講演を陸災防 五十嵐事務局長が行った。続いて午後の部は事業主・管理者を対象とした「適正化事業の現状と課題」の講演を県ト協適正化事業部 小野部長が行い、最後に「運送業界BCP対策について考える」と題した講演を日本インシュアランスグループ(株)渡邊崇氏が行い、参加者に対する飲酒運転撲滅、事故防止に対する意識向上への取組を図った。



# 県ト協 運行管理者試験受験対策勉強会のご案内

平成28年度第2回運行管理者試験は、平成29年3月5日(日)に実施されます。

今般、当協会の主催により下記のとおり受験対策として2日間の勉強会を開催いたしますので、受験される方またはこの機会に勉強したい方がおられましたら、ぜひ受講されますようご案内いたします。

**平成28年度第1回試験合格率 福島県 33.1% 勉強会参加者 46.9%**  
**前回本勉強会を受講された方は福島県平均より合格率が高い結果が出ています。**

記

- 1 日 時 平成29年2月3日(金)・2月4日(土) 9時～18時(受付8時30分から)
- 2 場 所 県トラック協会福島研修センター2F大会議室 (住所：福島市飯坂町平野字若狭小屋32)
- 3 講習内容 関係法令の研修等受験指導等
- 4 対 象 **福島県トラック協会会員事業所**
- 5 募集定員 **130名(先着順で受付し、定員になり次第締め切ります)**
- 6 テキスト (株)輸送文研社発行の「**運行管理者国家試験 貨物編 平成29年3月受験対策版**」  
 ※過去のテキストや輸送文研社以外のテキストでは受講できません。  
**(指定の輸送文研社発行テキストがある場合はご連絡ください)**
- 7 受講料 **1人3,000円 (指定テキストをお持ちの方は1,000円)**
- 8 申込み 下記申込書に記入し、FAXまたは郵送にて申込み下さい。  
 (お支払) **受講料は期日までに窓口持参または現金書留にて下記トラック協会事務局へ納入下さい。期日までに受講料の支払いがない場合は受講できません。なお、開催日当日の納入も受け付けません。**
- 9 申込期日 平成29年1月25日(水)まで  
 ・受講料納入確認後、テキスト等を郵送いたしますので、本勉強会を受講される前に必ず自読してください。また領収書はテキストと同封して送付いたします。  
 ・テキスト発送後のキャンセルは受講料を返金いたしません。
- 10 問合せ先 (公社) 福島県トラック協会 総務部/佐川 住所：福島県福島市飯坂町平野字若狭小屋32  
 TEL：024-558-7755 FAX：024-558-7731

## 運行管理者試験受験対策勉強会 受講申込書

1 事業所名 (資料送付先および電話番号を明記して下さい)※電話・FAXは日中連絡が取れる番号

(1) 事業所名 \_\_\_\_\_

(2) 所属支部 (○で囲む) 県北 県中 県南 会津 相双 いわき

(3) 郵便番号 \_\_\_\_\_

(4) 住 所 \_\_\_\_\_

(5) 電話番号 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

2 受講希望者名 \_\_\_\_\_

※(株)輸送文研社「運行管理者国家試験貨物編平成29年3月受験対策版」を既にお持ちの方はご連絡ください。  
 ※過去のテキストや輸送文研社以外のテキストでは受講できませんのでご注意ください。

※試験の申込ではありません。試験受験者を対象とした受験対策のための勉強会です。  
 ※当勉強会のご案内については、本広報誌「わだち」掲載前に、全会員事業者様へ一斉FAX及び当協会ホームページでもご案内し広く周知しております。  
 おかげ様で当勉強会は受験者の皆さまから大変好評を得ており、本広報誌が届く前に募集締め切りとなる場合がございますので、その際はご容赦ください。

## 県ト協 年末年始の輸送等に関する安全運動実施について

輸送繁忙期にあたる年末年始に輸送に関する事故防止について「年末年始等に関する安全総点検」「正しい運転・明るい輸送運動」「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」等を実施します。

本年度の総点検においては安全管理、自然災害、事故等発生時の乗客等の安全確保、テロ防止のための警戒体制の整備状況及び訓練実施状況、職場における新型インフルエンザ対策の4点に特に留意することが掲げられたことから各事業所においては「運動の進め方」等の実施細目を策定の上確実に実施し、交通公害の防止、輸送秩序の確立等をはかりトラック事業のみならず地域住民経済、社会に貢献されるよう最善の努力をお願いいたします。

運動の詳細は12月1日付の同内容の文書を参照いただき、運動実施結果については同封の回答用紙により福島運輸支局へ提出いたしますので平成29年1月10日(火)までに必ず報告願います。

## 県ト協 支部における適性診断(初任・適齢)の受診についての注意

標記の件につきまして、支部においての1月、2月の受診は、カウンセリングを2月末までに終了した場合は助成対象となりますが、3月以降に終了する場合は助成の対象となりませんでご注意ください。

助成金の交付を希望し、カウンセリングが3月以降になるときは、あらためて4月以降に初任・適齢診断の申込を支部にされますようお願いいたします。

また、適性診断は2月末日までの助成対象となりますので、3月は受診票が利用できませんのでご注意ください。

## 県ト協 平成28年度第2回交付金運営委員会について

本年度の第2回交付金運営委員会が、12月15日(木)に委員5名が出席し郡山市の県中研修センターにおいて行われた。

加治雄司委員長のあいさつに続き、議事として、「平成29年度に向けた運輸事業振興助成交付金特別会計(以下「交付金会計」という。)に係る各種事業」や「交付金会計に係る助成事業」、「近代化基金の融資・運営制度」等が取り上げられ、各委員による活発な協議が行われた。

協議の中では、特に「トラック業界のイメージアップや人材確保に向けて、来年度はどのような事業に取り組んでいくべきか。」や「助成事業に係る内容、予算をどのように見直すべきか。」について多様な意見が交わされ、実り多い委員会となりました。

次回の委員会は、来年2月20日頃に開催予定となっており、平成29年度の交付金会計予算案や事業計画案等が協議される。

## 事業所 磐城通運株式会社火力営業所が「エコドライブ活動コンクール」で優秀賞を受賞

磐城通運株式会社の火力営業所は、全国1,181事業所が参加した交通エコロジー・モビリティ財団（エコモ財団）主催の「平成28年度エコドライブ活動コンクール」において、優秀賞を受賞した。

同コンクールは、全国の乗用車・トラック・バス・タクシー等を保有する事業者を対象に、「グリーン経営認証」の認証機関であるエコモ財団が、「エコドライブ普及連絡会」（警察庁・経済産業省・国土交通省・環境省）及び「エコドライブ普及推進協議会」（運輸関係等16団体で構成）の後援を受けて、優れたエコドライブ活動を実践している事業者を表彰する制度。

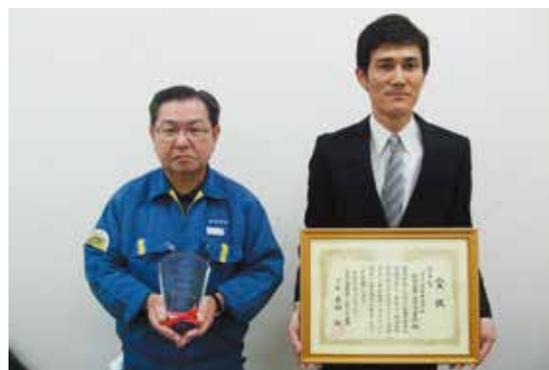
同社は、他にも参加した2事業所（小名浜支店・植田支店）が優良賞、3事業所（平支店・湯本支店・小名浜製錬営業所）がエコドライブ優良活動認定証を受賞している。

表彰式は11月18日に内幸町ホール（東京）で行われ、優秀賞を受賞した火力営業所の阿部所長にエコモ財団の岩村敬会長から表彰状とクリスタル楯が授与された。

当日は表彰式のほか、慶応義塾大学大学院理工学研究科 特任教授の飯田訓正氏が「自動車と環境問題」と題して基調講演を行った。

同社は平成17年のグリーン経営認証取得以降、継続してエコドライブ活動等を実践し、環境保全の取り組みを推進している。火力営業所では、月ごとの各ドライバーの燃費目標と実績が一目で分かるようにグラフ化して詰め所に掲示し、全車両に対してスピード管理を徹底することにより、結果として交通事故も減少しており、継続的な教育・指導の実践により燃料使用量削減に努めたことが評価につながった。

尚、同社は福島県主催の「平成27年度 地球温暖化防止のための福島議定書事業」において、運輸・設備業部門の最優秀賞（福島県知事賞）を受賞している。



【左から村上支店長代理、阿部所長】

## 高速安協 福島・郡山・会津・いわき分会が福島県警高速交通隊より感謝状

高速道路の交通事故抑止に貢献し事故防止活動に功績があったとして、福島県警高速交通隊から福島県高速道路交通安全協議会（以下高速安協）の福島・郡山・会津・いわき分会に感謝状が贈られた。（感謝状は各地区交通隊長より、各高速安協分会長に対し感謝状が直接手渡された。）

感謝状は、事故を防ぐための広報活動に功績があった団体などを対象に毎年贈呈している。



【宮沢隊長より渡邊泰夫 会津分会長へ感謝状】



【右近八郎 福島分会長】

新年あけましておめでとうございます



今年も

# 東北交通共済



をよろしく願いいたします

東北交通共済は非営利組織として運送事業者に特化した自動車共済（保険）、自賠責共済（保険）、各損保商品の販売及びトラック事故防止事業を運営しております。

自動車保険に思い悩んでいる

## トラック協会会員の皆様全員集合!!

トラック協会と共に歩む全国トラック交通共済連合会加盟の東北交通共済にお気軽にご相談ください。

フェイス トウ フェイス! お会いしないとトラック共済の良さはお伝えできません。

悩む前にまずお電話を!! 保険設計、何でもご相談を!! 無料で承ります。



### トラック共済の特徴

- 1 トラック共済独自の掛金率。
- 2 台数割引は最大で10%、優良割引は最大で70%、業界トップクラスです。
- 3 契約後の異動・減車・解約処理はすべて日割りで計算します。短期率の処理は行っておりません。
- 4 優良割引率は損害率による算定方式を採用。共済金支払いによる優良割引率ダウンは1年度に20%を限度、また大口共済金支払い事故については2年度までの反映としており、過去の事故を長く引きずりません。
- 5 車両共済は、掛金の割増なしで価格協定としており1年間で共済価格は減価しません。
- 6 事故処理も契約者毎の担当者制を採用、事故担当者の顔が見える円滑な事故処理が可能です。
- 7 車両の入替えに車種による制限はございません。
- 8 決算剰余金が出た場合、利用分量配当金ができます。(過去最高16%)
- 9 不測の事態に備え、対人・対物の再共済制度に加入しておりますのでご安心ください。
- 10 損保の代理店業務も行ってまいりますので、3大メガ損保の商品(貨物補償制度・業務災害補償制度など)も取り扱っております。



ご相談はお気軽に福島支部・郡山支部までお寄せください。

ご連絡いただければ職員がお伺いしてご説明申し上げます。

☎ **福島支部** 担当 小沢・齋藤

又は福島県トラック協会 荒川専務理事(東北交通共済理事)まで

〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32 TEL 024-555-0107 FAX 024-555-0108

☎ **郡山支部** 担当 草野・佐々木

又は福島県トラック協会 荒川専務理事(東北交通共済理事)まで

〒963-0547 郡山市喜久田町卸3丁目7-2 TEL 024-953-3420 FAX 024-953-3421

# 陸 災 防 技能講習等実施予定

【フォークリフト運転技能講習】

開催地	学科	講習開催日		
		実	技	技
郡山① いわき②	2月	24(金)	1: 7(火) ~ 9(木)	2: 14(火) ~ 16(木) 3: 21(火) ~ 23(木)
		28(火)	1: 7(火) ~ 9(木)	2: 13(月) ~ 15(水) 3: 21(火) ~ 23(木)

【荷役災害防止担当者安全衛生教育講習】

開催地	講習開催日
郡山	2月 22(水)

※講習に関する詳細はホームページでご確認ください。

[Http://www.f-rikusai.org/](http://www.f-rikusai.org/)

陸災防 福島県支部

検索

【はい作業主任者技能講習】

開催地	講習開催日
いわき	2月 16(木) 17(金)

【安全衛生推進者養成講習】

開催地	講習開催日
郡山	2月 7(火) 8(水)

# 協同組合 平成28年度ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報

「Web KIT」 荷物（求車）・車両（求荷）の情報登録・成約件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期計	増減
荷物(求車)登録件数	356件	275件	178件	259件	359件	417件	325件	405件					2,574件	2,394件	+180件
荷物(求車)成約件数	76件	106件	99件	99件	119件	139件	84件	106件					828件	574件	+254件
成約率	21.3%	38.5%	55.6%	38.2%	33.1%	33.3%	25.8%	26.2%					32.2%	24.0%	8.2ポイント
車両(求荷)登録件数	255件	177件	227件	203件	207件	233件	185件	175件					1,662件	1,546件	+116件
車両(求荷)成約件数	128件	115件	170件	145件	141件	171件	156件	133件					1,159件	929件	+230件
成約率	50.2%	65.0%	74.9%	71.4%	68.1%	73.4%	84.3%	76.0%					69.7%	60.1%	9.6ポイント

※上記表にはKIT外成立は含みません

# お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は平成27年に比べ平成28年では発生件数（-30）、死者数（増減なし）、傷者数（-43）となっている。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

## 第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況（11月末）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	平成27年 に比べて の増減数	12月	年間合計
27年(概数)	発生件数	8	5	13	13	8	5	10	13	12	10	11	108			5
	死者数				1	1						1	3	1		4
	傷者数	13	10	15	17	9	5	12	15	18	11	11	136	5		141
28年(概数)	発生件数	9	5	11	7	7	5	5	7	8	8	6	78	-30		
	死者数				1			1				1	3	0		
	傷者数	11	11	12	6	8	6	5	7	11	10	6	93	-43		



トラック広報 わだち1月号（通巻432号）  
 平成29年1月1日発行（毎月1回1日）  
 編集発行 公益社団法人福島県トラック協会  
 〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32  
 TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731  
 H.P <http://fukutora.lat37n.com/>

